

第 21 回伊那新校再編実施計画懇話会

日時：令和 7 年 7 月 17 日（木）

17 時 30 分～18 時 30 分

会場：オンラインまたは伊那弥生ヶ丘高校（配信会場）

| スケジュール区分 | 時間 | 備考 |
|---------------|-------------|----------------------------------|
| ホスト接続 | 17:00～ | 配信会場から接続設定を行います |
| オンライン接続開始 | 17:10～ | 構成員、傍聴者、報道各社 入室して開始まで待機してください |
| 第 21 回伊那新校懇話会 | 17:30～18:30 | |
| 構成員・傍聴者 退出 | 18:30～18:35 | 取材希望の報道の方は待機してください |

<次 第>

1 開 会

2 県教育委員会あいさつ

3 会議事項

- (1) 第 20 回伊那新校再編実施計画懇話会のまとめ
- (2) 校名選考について

4 その他

<次回の予定>

【日時】 令和 7 年 11 月～12 月（予定）

【場所】 （未定）

- 【内容】
- ・校名選考について
 - ・開校に向けた検討事項の進捗状況の報告
 - ・施設整備の進捗状況について

5 閉 会

新校再編実施計画懇話会開催要綱

(目的)

第1 県教育委員会が、統合新校ごとの再編実施計画を策定するにあたり、再編対象校に加えて、対象校が所在する地域の意見を聴くため、「新校再編実施計画懇話会」(以下、「懇話会」という。)を開催する。

なお、懇話会は、地方自治法第138条の4第3項の規定に基づき、法律又は条例により設置された附属機関ではないものとする。

(会議事項)

第2 懇話会は、次の事項について意見交換を行う。

- (1) 学校像、教育方針等に関する事
- (2) 校地・施設・設備等に関する事
- (3) 管理運営等に関する事
- (4) 教育内容等に関する事
- (5) その他、県教育委員会が必要と認める事項に関する事

(構成員)

第3 懇話会の構成員は、統合対象校の学校関係者(校長、教職員等)、地域の代表(自治体関係者、産業界の代表等)、同窓会、PTA、生徒の代表等とし、必要に応じ、県教育委員会が依頼する。

2 会議に座長を置く。

(開催期間)

第4 会議は統合新校が開校するまでの間、開催するものとする。

附 則

この要綱は、令和2年10月26日から施行する。

第21回 伊那新校再編実施計画懇話会 構成員名簿

◎印：座長

(敬称略)

| 区分 | 氏名 | 所属等 |
|------------|--------|---------------------------|
| 自治体 | 伊藤 徹 | 伊那市 副市長 |
| | 片桐 健 | 飯島町教育委員会 教育長 |
| | ◎本多 俊夫 | 駒ヶ根市教育委員会 教育長 |
| | 田中 章 | 上伊那広域連合 前事務局長 |
| | 唐澤 直樹 | 上伊那広域連合 事務局長 |
| 産業界 | 田畑 和輝 | 伊那商工会議所 監事 |
| | 春日 俊也 | 駒ヶ根商工会議所 副会頭 |
| | 黒河内 貴 | 株式会社仙醸 代表取締役社長 |
| 学識 経験者 | 片山 茂 | 信州大学農学部 教授 |
| | 高橋 百合子 | 長野県看護大学 准教授 |
| 地域 | 河野 宏 | 一般社団法人上伊那医師会 |
| | 中山 佳代 | 元上伊那地域の高校の将来像を考える協議会 |
| | 池上 安雄 | 上伊那地域振興局 局長 |
| 同窓会 | 山田 益 | 伊那北高等学校同窓会 運営委員会委員長 |
| | 下島 典子 | 伊那弥生ヶ丘高等学校同窓会 会長 |
| P T A | 大住 真希 | 伊那北高等学校 P T A 副会長 |
| | 藤澤 真由子 | 伊那弥生ヶ丘高等学校 P T A 副会長 |
| | 浅川 直矢 | 上伊那 P T A 連合会 参与 |
| 学校 関係者 | 田中 智之 | 上伊那小学校長会 会長 (伊那市立伊那東小学校長) |
| | 田中 幸一 | 上伊那中学校長会 会長 (伊那市立高遠中学校長) |
| | 小池 景子 | 伊那養護学校 校長 |
| 統合校 関係者 | 池上 裕汰 | 伊那北高等学校 生徒代表 |
| | 水上 ちはや | 伊那北高等学校 生徒代表 |
| | 宮下 賢三 | 伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表 |
| | 阿部 翔湊 | 伊那弥生ヶ丘高等学校 生徒代表 |
| | 山岸 明 | 伊那北高等学校 校長 |
| | 松村 真一 | 伊那北高等学校 教職員 |
| | 佐々木 俊秀 | 伊那弥生ヶ丘高等学校 校長 |
| | 唐澤 功 | 伊那弥生ヶ丘高等学校 教職員 |

【事務局】

| 伊那北高等学校 | |
|---------|---------|
| 千葉 亮 | 教頭・事務局長 |
| 松村 真一 | |
| 倉石 典広 | |
| 朝倉 三好 | |
| 桐生 祐治 | |

| 伊那弥生ヶ丘高等学校 | |
|------------|----------|
| 犬飼 健一 | 教頭・副事務局長 |
| 唐澤 功 | |
| 春日 雅博 | |
| 常田 真由美 | |
| 瀧澤 洋貴 | I C T 担当 |

【県教育委員会】

| 高校再編推進室 | |
|----------|--------|
| 原 多恵子 | 主幹指導主事 |
| 高橋 正俊 | 主任指導主事 |
| 荻原 洋平 | 主任指導主事 |
| 米澤 和真 | 主事 |
| 学びの改革支援課 | |
| 中谷 幸裕 | 指導主事 |

第 20 回 伊那新校再編実施計画懇話会まとめ（案）

| | | | |
|---------------------|--|------------------------------|------------------|
| 日時 | 令和7年5月13日（火）午後6時から午後7時20分 | | |
| 場所 | 長野県伊那合同庁舎 講堂 | | |
| 出席 （敬称略） | 伊藤 徹、本多 俊夫、田中 章、唐澤 直樹、田畑 和輝、春日 俊也、片山 茂、高橋 百合子、河野 宏、中山 佳代、池上 安雄、山田 益、下島 典子、大住 真希、藤澤 真由子、浅川 直矢、田中 智之、田中 幸一、小池 景子、池上 裕汰、水上 ちはや、池上 あかり（代理）、山岸 明、松村 真一、佐々木 俊秀、唐澤 功（以上26名） | | |
| 欠席 （敬称略） | 片桐 健、黒河内 貴、宮下 賢三、阿部 翔湊（以上4名） | 傍聴 | 13名、報道6社、オンライン3名 |
| 事務局 | 伊那北高校 | 千葉教頭、松村教諭、倉石教諭、朝倉教諭、桐生教諭 | |
| | 伊那弥生ヶ丘高校 | 犬飼教頭、唐澤教諭、春日教諭、常田教諭、瀧澤教諭 | |
| | 県教育委員会 | 原主幹指導主事、高橋主任指導主事、米澤主事、中谷指導主事 | |
| 会議事項 | （1）第19回伊那新校再編実施計画懇話会まとめ （2）校名選考について （3）開校に向けた検討事項の進捗状況について | | |
| 当日資料 | ・次第、開催要綱、構成員名簿、第19回懇話会まとめ、懇話会開催状況、開校までのスケジュール、校名選考関連資料、部会検討状況 ・会場配席図 | | |

主な内容（・意見、質問等 →県教委 →設立準備委員会）

| | |
|-----|--|
| (1) | 第19回伊那新校再編実施計画懇話会のまとめ |
| | ○第19回懇話会について説明【質問、意見なし】 |
| | ○伊那新校再編実施基本計画懇話会の開催状況について、これまでの懇話会で意見交換してきた内容と開校までのスケジュールを説明【質問、意見なし】 |
| (2) | 校名選考について |
| | ○「選考の進め方及び観点」、「校名決定の流れ」について資料をもとに説明【質疑、意見交換】 |
| | ・校名にアルファベットは入れてもよいか。 ➡飯田OIDE長姫高校という前例があるので入れてもよい。 |
| | ・校名案は投票による多数決で選ばれるものではないと説明があったが、極端に差がついても選考から落ちることもあるのか。 ➡両校の在校生と教職員や懇話会構成員は記名投票の予定。地域のみなさまからの投票は信任投票のような方法を検討している。投票結果も踏まえて決定過程を報告する。 |
| | ・公募するときには両校をイメージさせるような名前は抜くような条件を設けてほしい。 |
| | ・観点の中に「両校のこれまでの歴史や伝統などがイメージされる」という内容があるので、募集の段階で、両校を彷彿とさせるようなものまでは排除しなくてもよいのではないかと。 |
| | ・校名は誰と誰が協議して決めたのか、選考基準の説明など、責任の所在を明確に示せる形にしておかなければいけない。 |
| | ・最終決定に関わる設立準備委員会の構成員を説明してほしい。 ➡両校の校長等の管理職と再編担当の教員で構成しており、学校目標等を検討する組織。 |
| | ・設立準備委員会が具体的な内容を決めていかなければならない中で、校名決定まで担うのは責任が大きすぎる。決定には、懇話会構成員も関わった方がよいのではないかと。 |
| | ・遺恨が残らないためにも中立公平な観点で決められるように、有識者を含めた選考委員会を組織して決めた方がよいのではないかと。 ➡いただいたご意見を基にして決定方法なども含めて改めて検討する。 |

- ・校名決定までの一般的な手続きを教えてください。
 - ➡厳密に言うと今回は新校の校名候補を決定する選考の段階。今回で決まった校名候補を県教育委員会に両校の校長が具申して、県教育委員会定例会で校名案として決定する。その後、開校前年度の県議会で高等学校設置条例の改正を経て正式なものにしていく。
- ・公募したときに選べそうなものがない場合は、期間を延ばすことはあるか。
 - ➡期間延長については、今後検討して募集要項に反映したい。
- ・募集期間は具体的に決まっているか。生徒の中で新校に関心を持ってもらうために、みんなの名前を考えたい。
 - ➡7月以降、1ヶ月間程度、公募したいと考えている。1人でも、生徒会などの団体で応募してもらってもよい。応募では校名とその校名に込めた想いを書いていただく。
- ・選考の観点について、新校のイメージを沸かせるような観点も入れた方がよいと感じた。この観点だけでは言葉が足りないという印象を受ける。
- ・新校がどのような学校になるか理解してもらった上で校名を考えてもらうようにすべき。
- ・この観点では新しさを感じない。新しい時代の学び舎を想像させる校名の観点も必要ではないか。
- ・新校の学びがわかる資料を添付して募集をしていくべき。

○「校名募集要項」について資料をもとに説明

【質疑、意見交換】

- ・募集の周知はどのようにやっていくか。広く校名を募集するにあたって、募集が始まったことが分かるような周知の方法を考えた方がよい。
 - ➡市町村役場や報道機関にもご協力をいただいて広報活動をしたい。
- ・新聞やケーブルテレビにも協力をお願いした方がよい。

○座長まとめ

- ・今回の意見を持ち帰り検討し、7月頃に懇話会を開催して募集要項の修正案を確認する。

(3) 開校に向けた検討事項の進捗状況について

○資料をもとに各部会の進捗状況を説明

【質疑、意見交換】

- ・「共学共創コンソーシアムの立ち上げ」とあるが、もう立ち上がっているか。
 - まだ立ち上がっていない。新校ではコンソーシアムなどを設置しながら対話的な学びが提供できるように検討を進めていく。
- ・普通科や特色学科の課題探究は、このコンソーシアムと連携して進めていくことになると思われる。特に、特色学科に向けて、大学研究機関として信州大学が近くにあるので、どのように協力できるかどうかを含めて早めに相談してほしい。
 - 新校が自治体や大学等・企業・地域の方々に協力を得ながら教育活動をする上で、コンソーシアムを形づくる段階から協力の仕方や関わり方についてご意見をいただいきたい。
- ・優先的に検討する内容は、明確に期間を決めて進めた方がよい。
 - 優先すべき内容は、学校目標や教育方針、特色学科等になる。これらが決まらなるとその他の部分も決まらないので、早急に対応していく。

その他

【次回懇話会】

- ・日時 令和7年7月頃（予定）
- ・会場（オンライン開催を含め調整）
- ・内容 校名選考について

伊那新校 校名選考の進め方（前回との比較）

<前回案>

| | |
|-----------------|--|
| 校名選考の進め方 | <p>①公募</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇話会で選考の観点や公募方法等を提案し、意見交換を行った上で「校名募集要項」を決定し、実施する。 県教育委員会や伊那新校ホームページに公募結果や選考状況等を公表する。 <p>②一次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 県教育委員会事務局と設立準備委員会で、公募結果を参考にして校名案を数個にしぼる。 <p>③投票</p> <ul style="list-style-type: none"> 投票の対象となった校名案に対し、同校名、権利侵害等の調査を行う。 同校名、権利侵害等の調査結果を踏まえ、地域・両校の在校生と教職員・懇話会構成員による投票を行う。 <p>④二次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 投票結果を参考にして県教育委員会事務局で校名候補を選考する。 <p>⑤報告</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇話会で校名候補決定の経緯、理由等について報告する。 |
|-----------------|--|



<修正案>

| | |
|-----------------|--|
| 校名選考の進め方 | <p>①公募</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇話会で選考の観点や公募方法等を提案し、意見交換を行った上で「校名募集要項」を決定し、実施する。 県教育委員会や伊那新校ホームページに公募結果等を公表する。 <p>②一次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 県教育委員会事務局と設立準備委員会で、同名の名称の有無、商標権の確認等の校名案の整理を行い、<u>校名選考の観点に照らし合わせて校名案を 5 ～ 7 案程度にしぼる。</u> <p>③二次選考</p> <ul style="list-style-type: none"> 「地域」「両校の在校生と教職員」「懇話会構成員」による投票を行い、投票結果を参考に県教育委員会事務局と設立準備委員会で校名案を<u>2 ～ 3 案程度選ぶ。</u> <u>懇話会での意見交換を基に最終校名案を選考する。</u> <p>④校名候補の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> 懇話会での検討を踏まえ、県教育委員会で決定する。 |
|-----------------|--|

<主な変更点>

- ②** 「一次選考」で商標権等の調査、校名案を県教育委員会事務局と設立準備委員会 5 ～ 7 案にしぼる
- ③** 「二次選考」で投票を行い、投票結果を参考に、校名案を県教育委員会事務局と設立準備委員会で 2 ～ 3 案程度に選んだ後に、秋頃に開催する懇話会での意見交換を基に最終校名案を選考する

伊那新校 校名選考の観点（前回との比較）

<前回案>

| | |
|----------|---|
| 校名選考の観点 | ①校名は「長野県（ ）高等学校」とする。 ②学校の所在地がわかりやすく、親しみのあるものであることや、伊那北高等学校と伊那弥生ヶ丘高等学校のこれまでの歴史や伝統などがイメージされるなど、生徒が誇りを持てる名称であること。 |
| 伊那新校について | 学びのイメージや伊那新校に込められている想いなど、校名を考えるうえで参考になる情報を要項に記載する。 |
| 公募方法 | 1 期間：令和7年 月 日 ～ 令和7年 月 日（夏頃/1カ月間程度） 2 内容：校名案と理由 3 方法：①インターネットを利用した応募（応募フォーム） ②郵送または持参 |



<修正案>

| | |
|----------|--|
| 校名選考の観点 | ①校名は「長野県（ ）高等学校」とする。 <u>【次の②～④のうち、1つ以上が含まれていること（すべて含めてもよい）】</u> ② <u>学校の所在地がわかりやすく、親しみがあり生徒が誇りを持てる名称である</u> ③ <u>伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校のこれまでの歴史や伝統などがイメージされている</u> ④ <u>自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦するという学校像が表現されている</u> |
| 伊那新校について | 学びのイメージや伊那新校に込められている想いなど、校名を考えるうえで参考になる情報を要項に記載する。 |
| 公募方法 | 1 期間： <u>令和7年8月1日 ～ 令和7年9月7日</u> （1カ月間程度/ <u>延長なし</u> ） 2 内容：校名案と理由 3 方法：①インターネットを利用した応募（応募フォーム） ②郵送または持参 4 広報： <u>上伊那地域の市町村や報道機関（テレビ・新聞など）に協力を依頼</u> |

<主な変更点>

- ・校名選考の観点で②以降を分けて、修正案では②～④のうち、1つ以上含まれていることに変更
- ・④に伊那新校の学校像を観点に追加
- ・公募期間を8月1日～9月7日として、期間の延長はしない
- ・多くの方々に校名募集をしていることを知ってもらい、公募してもらえるような広報活動を行う。

伊那新校 校名決定の流れ(5/13案)

長野県教育委員会

設立準備委員会

これまでの校名選考の情報提供

「選考の進め方及び観点」等の検討

第20回懇話会(R7.5.13)

「選考の進め方及び観点(案)」、
「伊那新校校名募集要項(案)」について意見交換

伊那新校「校名募集要項」の決定

「選考の進め方及び観点」、
「伊那新校校名募集要項」の修正

夏頃

① 校名募集の公募開始

応募された校名案の整理

同名校、権利侵害等の調査

② 一次選考 校名案を数個にしぼる

10月頃

③ 地域・両校の在校生と教職員・懇話会構成員による投票

④ 二次選考 校名候補を決定

第21回懇話会(11月~12月)

⑤ 校名候補決定の経緯、理由等について報告

同名校、権利侵害等の調査

再編対象校の校長から具申

R8.3月or4月

教育委員会定例会で校名案の決定

R9.11月

県議会11月定例会で正式決定

伊那新校 校名決定の流れ(修正案)

長野県教育委員会

設立準備委員会

これまでの校名選考の情報提供

「選考の進め方及び観点」等の検討

第20回懇話会(R7.5.13)

「選考の進め方及び観点(案)」、
「伊那新校校名募集要項(案)」について意見交換

伊那新校「校名」募集要項(案)の作成

「選考の進め方及び観点(案)」の再検討

第21回懇話会(R7.7.17)

伊那新校「校名」募集要項(案)について意見交換

伊那新校「校名募集要項」の決定

夏頃

① 校名募集の公募開始

② 商標権等の調査

② 応募された校名案の整理

② 校名案を5～7案程度にしぼる

10月頃

③ 地域・両校の在校生と教職員・懇話会構成員による投票

③ 投票の集計

③ 投票結果を参考に2～3案程度選ぶ

第22回懇話会(11月～12月)

③ 意見交換で最終校名案を選考する

同名校、権利侵害等の調査

再編対象校の校長から具申

R8.3月～4月

④ 教育委員会定例会で校名案の決定

R9.11月

県議会11月定例会で正式決定

伊那新校 校名募集要項（案）

1 趣旨

長野県伊那市に令和 10 年（2028 年）4 月に開校する伊那新校（伊那北高等学校と伊那弥生ヶ丘高等学校の統合校）の校名を募集します。長野県教育委員会が進める「新たな学校づくり」に多くの皆様の参画をお願いします。

2 伊那新校の学校像

- ①学校所在地 長野県伊那市山寺 2165（現在の伊那北高校の校地）
- ②開校年度 令和 10 年度（2028 年度）
- ③設置学科 普通科、特色学科
- ④募集学級数 8 学級程度を想定（開校前年度に正式決定します）
- ⑤目指す学校像 ***別添資料 1 をご覧ください。**

3 校名選考の方法

校名選考は 4 つのステップを経て進めていきます。

①公募

多くの皆様から広く校名を募集します。どなたでもご応募できます。特に、これから伊那新校で学ぶ皆様（小学生や中学生）、その保護者の皆様からのご応募をお待ちしています。自分が通学するかもしれない高校の名前を、自分で考えてみませんか。（詳細については「**6 応募の方法**」をご覧ください）

②一次選考

応募された校名ついて、県教育委員会事務局と設立準備委員会で同名の名称の有無、商標権の確認等の校名案の整理を行い、校名選考の観点に照らし合わせて、校名案を 5 ～ 7 案程度にしぼります。

③二次選考

「地域」「両校の在校生と教職員」「懇話会構成員」による投票を行い、校名案を 2 ～ 3 案程度選びます。さらに懇話会での意見交換で最終校名案を選考します。

④校名候補の決定

令和 7 年 11 月～12 月頃に開催予定の懇話会での検討を踏まえ、県教育委員会で決定します。

（注）あくまでも校名案の募集であり、最も多く投票があった校名が必ずしも選ばれるものではありません。

4 校名選考の観点

校名候補を以下の観点で選びます。

①校名は「長野県（ ）高等学校」とする

【次の②～④のうち、1 つ以上が含まれていること（すべて含めてもよい）】

- ②学校の所在地がわかりやすく、親しみがあり生徒が誇りを持てる名称である
- ③伊那北高校と伊那弥生ヶ丘高校のこれまでの歴史や伝統などがイメージされている
- ④自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦するという学校像が表現されている

5 募集期間

令和7年8月1日（金）から9月7日（日）まで（郵送の場合は締切り当日の消印有効とします）

6 応募の方法

以下の2つの方法で応募できます。

- インターネットを利用した応募・・・応募フォームから必要事項を入力してください
- 郵送または持参・・・募集要項の最終ページにある所定の応募用紙を使用してください

必要事項は以下のとおりです。必要事項を満たさない応募は選定の対象外としますのでご注意ください。

- ① 校名案（必ずふりがなを記入してください）
 - ② その校名とした理由
 - ③ 氏名の他に、応募フォームの場合はメールアドレスと電話番号、郵送または持参の場合は電話番号（団体に応募する場合は代表者の氏名、電話番号などの連絡先）
- ※匿名での応募はできません

応募先は以下のとおりです。

【応募フォーム】 <https://>

【郵送先】 〒396-0026 長野県伊那市西町 5703

伊那弥生ヶ丘高校 伊那新校 校名募集担当 あて

持参する場合は、伊那北高校または伊那弥生ヶ丘高校の事務室に届けてください。

スマホなどからの応募はこちら

QRコードから
応募フォームへ
遷移

応募に際して以下の点にご注意ください。

- ・応募者本人が考えたものであり、他者の権利を侵害しないものとします。
- ・1回の応募につき記入出来るのは1つの校名案とします。
- ・応募にかかる費用は応募者の負担とし、応募用紙は返却しません。
- ・応募に際していただいた個人情報は校名選考以外には使用しません。
- ・決定された名称に関する一切の権利は長野県教育委員会に帰属するものとします。

（参考）2007年（平成19年）以降に再編統合で校名を変更した長野県立高等学校 *別添資料2

7 問合せ先

長野県教育委員会事務局高校教育課高校再編推進室まで、以下のどちらかの方法でお問い合わせください。

- 電話によるお問合せ 電話番号 026-235-7452

電話の際は「伊那新校の校名選考についての問合せ」であることをお伝えください。伊那新校のHPはこちら

- 電子メールによるお問い合わせ

E-mail koko-kaikaku@pref.nagano.lg.jp

メールの件名を【伊那新校 校名募集の問合せ】としてください。

QRコードから
詳細情報のわかる
サイトへ遷移

伊那新校の学校像

自らの可能性を切り拓き、夢の実現に果敢に挑戦する高校

目指す学校像

- 「探究」を核とした学びを通して、自己実現と社会貢献を目指す
- 他者との協働を通して、多様な価値観を共有し人間性を育む
- 自主的な活動や創造的な活動を通して、主体性を育む

新たな学びに対応したシステム



「探究」をベースにした教育活動
個別最適な学びを実現する“単位制”
文理融合した学び・教科横断型授業の展開
大学・研究機関・企業・自治体などと協働した学び



1年次：必履修科目を中心に履修

2・3年次：自分の学びを自分でデザインし、履修する科目を選択

普通科

探究を核として持続的な学びを実現する学科

- 地域課題を基に日本、世界に目を向け、これからの社会の核となる人の育成を目指す
- ◇ 地元自治体など、コンソーシアムとの連携による、ローカルな視点とグローバルな視点で行う探究活動
- ◇ 自らの興味関心や進路希望に応じて選択ができる多様な科目の設置

特色学科

高度な探究により、卓越した学びを実現する学科

- 学問の真理を追究する意欲、社会の課題解決への挑戦心や使命感を持つ人の育成を目指す
- ◇ 大学・研究機関をはじめ、コンソーシアムとの連携による、応用的・発展的な探究活動
- ◇ 課題研究や先進的な探究を行う科目、高度な内容を扱う科目などの設置

連携・協働

上伊那共学共創コンソーシアム

多様な人々と学び合い、地域課題の解決や地域の活性化・イノベーションの創出を目指すコミュニティ



医療機関



大学



企業



自治体



国際機関



上伊那広域連合

等

2007年(平成19年)以降に再編統合で校名を変更した長野県立高等学校

○「第1期長野県高等学校再編計画」における再編統合等の状況

| 実施年度 | 再編統合等の状況 | |
|----------------------------|--|--|
| 2007年 (平成19年) 【一次統合】 | 飯山照丘(普通科) 飯山南(普通科・体育科) | 飯山 (普通科・体育科) |
| 2014年 (平成26年) 【二次統合】 | 飯山北 〔普通科・自然科学探究科 人文科学探究科〕 飯山(普通科・スポーツ科学科) | 飯山 〔普通科 自然科学探究科 人文科学探究科 スポーツ科学科〕 |
| 2007年 (平成19年) | 中野 (全日制:普通科) 中野実業 (全日制:工業科・商業科 定時制:普通科) | 中野立志館 (全日制:総合学科 定時制:普通科) |
| 2007年 (平成19年) | 木曾 〔全日制:普通科・理数科 定時制:普通科〕 木曾山林 (全日制:農業科・工業科) | 木曾青峰 (全日制:普通科・農業科 工業科・理数科 定時制:普通科) |
| 2008年 (平成20年) | 箕輪工業 〔全日制:普通科・工業科 定時制:工業科〕 上伊那農業(定時制:普通科) | 箕輪進修 (多部制・単位制 普通科・工業科) |
| 2013年 (平成25年) | 飯田工業 〔全日制:工業科 定時制:工業科〕 飯田長姫 〔全日制:工業科・商業科 定時制:普通科〕 | 飯田OIDE長姫 (全日制:工業科 商業科 定時制:普通科 工業科) |

| 実施年度 | 再編統合等の状況 | |
|------------------|---|---|
| 2015年 (平成27年) | 須坂商業(商業科) 須坂園芸(農業科) | 須坂創成 (農業科・工業科・商業科) |
| 2015年 (平成27年) | 北佐久農業 (農業科) 白田 (創造実践科) 岩村田 (工業科) | 佐久平総合技術 〈浅間キャンパス〉 (農業科・工業科) 〈白田キャンパス〉 (創造実践科) |
| 2016年 (平成28年) | 大町(普通科・理数科) 大町北(普通科) | 大町岳陽 (普通科・学究科) |

※「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」より抜粋

○「第2期長野県高等学校再編計画 高校改革～夢に挑戦する学び～」における再編統合等の状況

| 実施年度 | 再編統合等の状況 | |
|--------------------------|--|---|
| 2026年 (令和8年) ※開校予定 | 小諸商業 〔全日制:商業科 会計システム科 定時制:商業科〕 小諸 (全日制:普通科・音楽科) | 小諸義塾(仮称) (全日制:普通科・音楽科 ビジネス科 定時制:商業科) |

伊那新校 校名募集 応募用紙（案）

| | | |
|--|--|------------------|
| ①伊那新校の校名案 ふりがなも記入してください | ながのけん 長野県 | こうとうがっこう 高等学校 |
| ②その校名とした理由 | | |
| ③応募者のご職業 | <input type="checkbox"/> 小学生 ・ <input type="checkbox"/> 中学生 ・ <input type="checkbox"/> 高校生 ・ <input type="checkbox"/> 大学生や専門学校生など <input type="checkbox"/> 学生以外の方 | |
| ④応募者の年齢 | <input type="checkbox"/> 10代・ <input type="checkbox"/> 20代・ <input type="checkbox"/> 30代・ <input type="checkbox"/> 40代・ <input type="checkbox"/> 50代・ <input type="checkbox"/> 60代・ <input type="checkbox"/> 70歳以上 | |
| ⑤氏名・電話番号 団体で応募する場合は、団体名と代表者氏名をご記入ください | 氏名 | 電話番号 |

※記載事項を満たさない応募は選定の対象外とします。匿名での応募はできません。

【応募にあたっての注意事項】

- ・応募者本人が考えたものであり、他者の権利を侵害しないものとします。
- ・あくまでも校名案の募集であり、最も多く投票があった校名が選ばれるものではありません。
- ・1回の応募につき記入できるのは1つの校名案とします。
- ・応募にかかる費用は応募者の負担とし、応募用紙は返却しません。
- ・応募に際していただいた個人情報には校名選考以外には使用しません。
- ・決定された名称に関する一切の権利は、長野県教育委員会に帰属するものとします。

【応募先】

〒396-0026 長野県伊那市西町 5703
伊那弥生ヶ丘高校 伊那新校 校名募集担当 あて

スマホなどからの応募はこちら

伊那新校のHPはこちら

QRコードから
応募フォームへ
遷移

QRコードから
詳細情報のわかる
サイトへ遷移

【お問合せ先】

長野県教育委員会事務局 高校教育課高校再編推進室

T E L 026-235-7452 E-mail koko-kaikaku@pref.nagano.lg.jp